

令和 5年 11月 20日

報道機関 各位

**Bangladesh の若手研究者が、島根大学で養液栽培技術を学びます  
～安心・安全な野菜栽培と農家の所得向上を目指して～**

◆本件の概要

島根大学生物資源科学部では、11月27日(月)～12月2日(土)、Bangladesh 国立農業研究所から若手研究者6名を招き、環境にやさしく安全な野菜を生産するための養液栽培技術を学ぶ研修プログラムを実施します。

本プログラムでは、生物資源科学部で研究を進める「土を使わない養液栽培技術」を修得することで Bangladesh の野菜生産技術を改善し、農家の所得向上に繋げることを目的とします。

本学での研修では、養液栽培の基礎から応用までを学ぶため、講義に加え実習を行います。

【実施内容】 ●講義 ●実験、実習 ●島根県農業技術センター視察  
●養液栽培イチゴ農家視察 ●総合討論

【実施場所】 島根大学、同本庄総合農場、島根県農業技術センター(出雲市)、  
養液栽培イチゴ農家(安来市)、松江城、足立美術館(安来市)

■ 研修内容・日程などの詳細は添付資料をご確認ください。 ■

◆本件の連絡先 ※[at]は@に置き換えて下さい

島根大学 生物資源科学部 農林生産学科 教授・浅尾 俊樹(あさお としき)

Mail: asao[at]life.shimane-u.ac.jp

島根大学 企画部 企画広報課 広報グループ

TEL: 0852-32-6603 Mail: gad-koho[at]office.shimane-u.ac.jp



【添付資料: あり( 2 枚) なし】

## <取材のお願い>

2023年11月20日

島根大学

国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)

さくらサイエンスプログラム推進本部

### Bangladesh の若手研究者が、島根大学で養液栽培技術を学ぶ ～安心・安全な野菜栽培と農家の所得向上を目指して～

島根大学では、11月27日(月)～12月2日(土)、Bangladesh 国立農業研究所から研究者6名を招へいし、環境にやさしく安全な野菜を生産するための養液栽培技術を学ぶ研修プログラムを実施します。来日するのは、Bangladesh 農業の未来を担う、優秀な若手人材です。

Bangladesh は労働人口の約45%が農業に従事し、米の自給率はほぼ100%である一方で、それを支えているのは小規模な貧困農家です。近年では、食生活の欧米化や健康志向により、サラダとして食べられる安全な野菜の需要が見込まれていますが、自然災害の他に、高収穫量を求めて殺虫剤や化学肥料を多用してきたため、土壌汚染や残留農薬により品質の良い野菜の生産は極めて困難な状況です。本プログラムでは、本学生物資源科学部で研究を進める「土を使わない養液栽培技術」を修得することで同国の野菜生産技術を改善し、農家の所得向上に繋げることを目的とします。

本学での研修では、養液栽培の基礎から応用までを学ぶため、講義に加え実習を行います。実習では実際に培養液(水に肥料を溶かしたもの)を作成し、それを使ったメロン、イチゴ、レタス等の栽培を体験します。島根県農業技術センター(出雲市)では、生産者向けの農業技術研究に携わる研究者の活動を視察し、養液栽培を生産者に普及する上での課題について議論します。また、実際に養液栽培を行っているイチゴ農家(安来市)では、生産レベルにおける課題を掘り下げます。また、総合討論ではプログラムで体験したことを元に、Bangladesh での養液栽培について、本学学生らと議論を深めます。

本プログラムは、科学技術振興機構(JST)主催の「国際青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプログラム)」\*に採択されたもので、2018年度から5回目の実施となります。(2021年度はオンライン実施)。多くの技術を身につけて帰国した研究者らの努力により、Bangladesh 版養液栽培システムが開発され、現在では研究所内でレタス、イチゴ、トマトなどの養液栽培が可能になりました。

\*「国際青少年サイエンス 交流事業(さくらサイエンスプログラム)」科学技術分野における日本と海外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の事業です。一般公募プログラムでは大学等の日本の機関が作成する科学技術体験、共同研究、科学技術研修に関する青少年の国際交流計画の実施経費を JST が支援します。 <https://ssp.jst.go.jp/>



つきましては、招へい者らが講義を受ける様子、培養液作成などの実習をする様子、農業技術センターやイチゴ農家を視察する様子、本学学生らと討論をする様子などを取材していただきたくお願い申し上げます。なお、実施担当の浅尾俊樹教授へのインタビュー取材もアレンジが可能ですので、ご希望の方は担当者までご連絡くださるようお願いいたします。

【実施内容】 ●講義 ●実験、実習 ●島根県農業技術センター視察  
 ●養液栽培イチゴ農家視察 ●総合討論

【実施場所】 島根大学、同本庄総合農場、島根県農業技術センター（出雲市）  
 養液栽培イチゴ農家（安来市）、松江城、足立美術館（安来市）

【研修日程概要】

11月27日(月)	午前：来日 午後：島根へ移動
11月28日(火)	午前：学長および学部長表敬（島根大学） 午後：島根大学本庄総合農場見学、松江城視察
11月29日(水)	午前：島根県農業技術センター視察（出雲市） 午後：養液栽培イチゴ農家視察（安来市）、足立美術館、日本庭園視察
11月30日(木)	午前：講義「養液栽培の概要と培養液」実習「培養液作成、EC/pHの測定と分析」（島根大学本庄総合農場） 午後：講義「日本の養液栽培、低カリウムメロン生産」（同上） 実験実習「低カリウムメロン生産システムと培養液管理」（同上）
12月1日(金)	午前：講義「人工光型植物工場とLED」（島根大学本庄総合農場） 講義「人工光型植物工場におけるイチゴとワサビの栽培」（同上） 午後：講義、実習、総合討論「バングラデシュでの養液栽培について」（同上）
12月2日(土)	午前：修了証授与式（同上） 午後：離日

-----  
 ■本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先 ※[at]は@に置き換えて下さい

島根大学生物資源科学部

電話：0852-34-1817 Eメール: asao[at]life.shimane-u.ac.jp（担当：浅尾）

島根大学 企画部 企画広報課 広報グループ

電話：0852-32-6603 Eメール: gad-koho[at]office.shimane-u.ac.jp

■国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）に関するお問い合わせ  
 JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室